

1 ふるさと教育

ふるさと教育全体計画

本校の教育目標

夢に向かって ふみ出す一歩 ～ やさしくかしこくたくましく ～

大仙市学校教育の重点	ふるさと教育実践の基本方針	秋田県ふるさと教育の目指す人間像
学校教育の充実～「ふるさと大好き」元気に探究する子ども～ 生きる力としての総合的な学力を育む学校教育の推進 ○地域活性化に寄与できる子ども（地域を元気づけ、将来的に地域を支える人材と世界に羽ばたく人材）の育成 【大仙市教育大綱(学校教育)の項目から】 ◇学校教育の充実◇ 1 豊かな心と健康な体を育む学校づくり 2 主体的でグローバルな学びを進める学校づくり 3 家庭・地域と一体となった開かれた学校づくり	ふるさと地域社会は、子どもたちにとって生活の場であるとともに、健全な社会人となるための基礎を培う場でもある。 ふるさは常に温かく、大きな包容力をもって包み込んでくれるかけがえないものである。 ふるさとの自然や風土、歴史や伝統文化にふれ、親しむ中で、地域社会でより良く生きていこうとする意欲を一層喚起することを目指し、ふるさと教育を実践する。	1 郷土の自然や風土を愛する人間 2 郷土の歴史や伝統、文化を正しく受け継ぐ人間 3 うるおいと活力に満ちた郷土を築く創造性あふれる人間 4 郷土の発展に尽くそうとする実践的な人間 5 国際社会をたくましく生き抜く人間

ふるさと教育の目標

ふるさとのよさを発見し、ふるさとへの想いを深めるふるさと教育

今年度の重点

【地域とのふれあい活動や地域理解を重視した地域に根ざした活動の充実】

- ・体験的な学習を通して、郷土への関心を高め、地域に対する愛情や誇りをもたせる。
- ・指導計画及び全体計画に地域とふれ合い地域に貢献できる活動を取り入れる。

具体的施策

- ① 地域のよさを知り、ふるさとに生きる意欲を高める体験活動の計画的な実施～生活科・総合的な学習の時間を核に～
- ② 地域の教育力や地域素材・人材の積極的な活用
- ③ キャリア教育との連携を密にし、全教育活動を通して取り組む
- ④ 身に付けさせたい力を明確にしたキャリア教育の実践
- ⑤ 夢を育む「もの・こと・人」との出会いの工夫
- ⑥ 児童会と連携し児童主体のあいさつ運動の推進
- ⑦ 地域住民との交流活動の推進～ゆりの木の集い～
- ⑧ 近隣の教育関係機関との密なる連携

地域との連携

- ・大仙市 ・大仙市教育委員会
- ・公民館 ・こども園／保育園
- ・近隣小学校 ・大曲中学校
- ・大曲農業高等学校
- ・保呂羽山少年自然の家
- ・東北農業研究センター
- ・県立農業科学館
- ・農地・水・環境事業
- ・JA秋田おばこ ・煙火業者
- ・スーパーマーケット 他

各教科	総合的な学習の時間	特別活動	特別の教科 道徳
・生活科 サケ稚魚放流 地域探検 等 ・社会科 地域探検 先人の働き 昔の暮らし調べ 等 ・理科 植物の観察・採集 地形の観察 等	・四ツ屋地域を素材とした体験活動 四ツ屋の仕事調べ 職業体験 四ツ屋まつり 米作り体験学習 植栽活動・野菜の収穫等 ・大仙市や秋田県を素材とした体験活動 産業振興 観光 等	・クラブ活動 ・委員会活動 ・学校行事 ゆりの木の集い 植栽活動 なべっこ会 修学旅行 宿泊体験学習 等	・地域の素材や人材を活用した学習 ゲストティーチャーの生き方、思いを感じ取る学習 「思いやり」「郷土愛」 「愛国心」「自然愛」 「社会奉仕」「尊敬」 「感謝」「国際理解」等

2 キャリア教育

キャリア教育全体計画

地域に根ざしたキャリア教育の充実

- ・キャリア教育のねらいの共有と成果の発信
- ・資質・能力の育成につながる体験活動の充実
- ・キャリア発達を一層促すための学校間・校種間連携の推進

本校の教育目標

夢に向かって ふみ出す一歩
～やさしく かしこく たくましく～

児童の実態

- ・素直で明るい
- ・優しく思いやりがある
- ・主体的な行動が弱い
- ・積極的な発言が少ない
- ・やや根気強さに欠ける

目指す子ども像

- (1) やさしく (豊かな心)
相手を思いやり、優しく接することのできる子ども
- (2) かしこく (確かな学力)
主体的に学び、自分の考えをもち、表現できる子ども
- (3) たくましく (健やかな心身)
志をもち、たくましく生き抜く子ども
- (4) 地域と共に (地域貢献)
ふるさとを愛し、共によく生きようとする子ども

保護者・地域の願い

- ・元気な挨拶ができるようになって欲しい。
- ・優しく思いやりがある子どもになって欲しい。
- ・ねばり強くたくましい子どもになって欲しい。

目指す学校像

- (1) 子どもたちにとって・・・学習内容が分かり、仲間と安心してつながる”魅力ある学校”
- (2) 教職員にとって・・・自分の持ち味が発揮でき、子どもの成長に”やりがいを感じる学校”
- (3) 保護者や地域にとって・・・思いや願いを共有し、”共に子どもを成長させる学校”

目指す教師像

- (1) 子どもに夢 (志) をもたせられる教師
- (2) 子ども一人一人の学びを保証し、意欲と能力を引き出す教師
- (3) 研修や学校経営への参画を通して、自身の伸びを止めない教師

本年度の重点

地域と共に歩むキャリア教育の充実

- ・総合的な学習の時間を核とした体験的な活動の充実
- ・保護者や関係機関との協働

キャリア教育で目指す児童像

夢に向かって、関わりを大切にしながら、一歩を踏み出そうとする子ども

身に付けさせたい力			
◇人間関係形成・社会形成能力	◇自己理解・自己管理能力	◇課題対応能力	◇キャリアプランニング能力
多様な他者の考えや立場を理解し、相手の意見を聴いて自分の考えを正確に伝えることができる。ともに、自分の置かれている状況を受け止め、役割を果たしつつ他者と協力・協働して社会に参画し、今後の社会を積極的に形成することができる力	自分が「できること」「意義を感じること」「したいこと」について、社会との相互関係を保ちつつ、今後の自分自身の可能性を含めた肯定的な理解に基づき主体的に行動すると共に、自らの思考や感情を律し、かつ、今後の成長のために進んで学ぼうとする力	仕事をする上での様々な課題を発見・分析し、適正な計画を立ててその課題を処理し、解決することができる力	「働くこと」の意義を理解し、自らが果たすべき様々な立場と役割との関連を踏まえて「働くこと」を位置付け、多様な生き方に関する様々な情報を適切に取捨選択・活用しながら、自ら主体的に判断してキャリアを形成していく力
○学校生活の中で、決まりを守ることや協力することの大切さを知る。 ○教え合ったり励まし合ったりしながら友達と協力して仕事に取り組む。	○友達との関わりの中で、自分らしさを発揮しながら行動する。 ○集団行動の中で自己規制を行いながら、目標達成に向けて粘り強く取り組む。	○自ら課題を見つけ、それを達成する喜びを知る。 ○学校行事などを児童自らの手で企画し、協力しながら実行する。	○自分の役割や責任を果たすとともに、人の役に立つ喜びを実感する。 ○将来の夢や希望、あこがれを持ち、そのために今何をしなければいけないのかを考える。

<各教科>

- 学び合うことに喜びを見出し、自ら課題を発見し、その解決に向けて主体的に粘り強く取り組み続ける力を育てる。
- 各教科のねらいを達成し、自然のすばらしさや人間の優しさをふれ、美しいものに感動する心を育てる。

各学年の重点目標

高学年

- ・自ら自己課題の解決を進め、解決の成果をもとに新たな課題を設定して取り組むことができる。
- ・思いやりの気持ちをもち、相手の立場に立って考えを述べ、行動することができる。

中学年

- ・解決方法や手順を選択して、活動を進めることができる。
- ・自分のよさを見つけたたり、友だちのよさを認めて励まし合ったりすることができる。

低学年

- ・自分の考えをみんなの前で話すことができる。
- ・分かったことやできたことを発表することができる。

<総合的な学習の時間>

- 探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究的な学習のよさを理解できるようにする。
- 実社会や実生活の中から問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。
- 探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を養う。

<道徳>

- よく考えて判断し、進んで行動しようとする子どもを育てる。
- 目標をもち、粘り強くやり通そうとする子どもを育てる。
- 思いやりの心をもち、温かく励まし合う子どもを育てる。
- 生命の尊さを知り、命あるものをいとlish子どもを育てる。

<特別活動>

- 互いのよさを生かし、協働してよりよい生活を築こうとする子どもの育成

学校の教育目標の具現化に向けた学年・学級経営

- ◇共感的な人間関係を育む集団づくり
- ◇効果的な学び合いを取り入れた指導の工夫改善

小学校1年 キャリア教育 年間指導計画

四ツ屋小学校

1 目標

- ・自分の考えをみんなの前で話すことができる。
- ・分かったことやできたことを発表することができる。

2 基礎的・汎用的能力

- I 人間関係形成・社会形成能力
- II 自己理解・自己管理能力

III 課題対応能力

- IV キャリアプランニング能力

月	学級活動		道徳		教科		関係行事等	
	単元名	身に付けさせたい力	主題名	身に付けさせたい力	単元名	身に付けさせたい力	行事名	身に付けさせたい力
4	楽しい給食	I・給食を食べるときの約束を知る。	安全を大切に	III・危険から身を守り、ものや金銭を大切にすること。	国語科 どうぞよろしく	I・友達に知ってもらいたいことを考え、自己紹介する。	入学式	IV・入学したことへの期待感と目標をもつ。
	みんなでおそうじ	I・掃除当番の仕事の必要性が分かり、それに取り組む。	自分でできること	I・規則正しい生活をしようとする。	図工科 すきなもののいっぱい	II・自分の好きなもの描きたいもののイメージをもち、心を開く。		
5	学級目標をきめよう	IV・みんなにとってよいクラスになるための目標を考える。	お世話になっている人	I・日頃世話になっている人に感謝をする。	生活科 きれいにさいてね	III・生き物への親しみをもち、大切にすること。	スタート！ ゆりの木グループ	I・教え合ったり仲間と協力し合ったりして活動する。
	係を決めよう	I・みんなの役に立つ係について考え、活動する。						
6	もっと仲よくなる会をしよう	IV・みんなが仲よくなる遊びを考えて、仲よく遊ぶ。	親切な心で	I・温かい心で接し、親切にしようとする。	生活科 なつがやってきた	I・公共物を大切にしたり、公共施設を正しく利用したりする。 II・身近な自然やものを遊びに取り入れて、生活を楽しくしようとする。	新体力テスト	II・自己の目標達成に向けて粘り強く取り組む。
			命の素晴らしさ	I・命あるものを大切にしようとする。				
7	もうすぐ夏休み	II・夏休みの生活の見通しをもち、目標を立てて夏休みの生活をよいものにしようとする。	誰にでも公平に	I・誰に対しても公正、公平に接しようとする。				
			がんばる心	III・自分の目標に向かって、努力しようとする。				
8	あかるいあいさつ	I・気持ちのよいあいさつをしようとする。	みんなのために働くこと	IV・みんなのために進んで働くこととする。				
	学習発表会を成功させよう	III・学習発表会を成功させるための方法を考え、協力して実践しようとする。	ほかの国の人たち	I・他国の人々に親しみをもち、積極的に関わっていこうとする。	生活科 いきものとなかよし	III・生き物への親しみをもち、大切にすることができる。	地区民運動会	I・地域の人達と協力して活動に取り組む。 II・自己の目標達成に向けて粘り強く取り組む。
10	後期のめあてを決めよう	IV・前期を振り返り、後期がんばりたいことを考える。	友達っていいな	I・友だちと進んで関わり、仲良くしようとする。	生活科 たのしいあきいっぱい	III・みんなと楽しみながら遊びを創り出し、生活を楽しくしようとする。	クロスカントリー大会 学習発表会	II・自己の目標達成に向けて粘り強く取り組む。 IV・自分の役割を果たそうと、進んで活動に取り組む。
	新しい係を決めよう	I・これまでの係を振り返り、新しい係を決め取り組む。	あきらめないで最後まで	II・自分がやらなくてはいけないことは、最後まで粘り強く行う。			ゆりの木の集い	I・地域の人や友達と協力して活動に取り組む。
11	図書室大好き	II・読書の楽しさに気づき、より多くの本に親しもうとする。	きまりの大切さ	I・きまりや規則を守ろうとする。				
			家族のために	I・家族のためにできることは進んでやっつけようとする。				
12	好き嫌いしないで	II・これまでの自分の食生活を振り返り、何でも食べることの大切さを知る。	私たちの住む町	I・自分の暮らす町に愛着を持って生活しようとする。	生活科 じぶんでできるよ	I・自分の役割を積極的に果たすとともに、規則正しく健康に気を付けて生活する。		
			優しい気持ち	I・優しい気持ちを持ち、相手を大切に思う。				
1	1年生のゴールまでのめあてを決めよう	II・これまでの自分を見つめ、さらに伸ばしたいよさや目標を考え、努力しようとする。	きまりの大切さ	II・公共の場所でマナーを守って行動しようとする。	生活科 ふゆをたのしもう	III・身近な自然を取り入れて、自分の生活を楽しくしようとする。		
			自分のよさ	II・自分の特徴に気づき、長所を大切にしようとする。				
2	いろんな人にありがとう	III・これまでお世話になった人たちに感謝の気持ちを表す方法を考える。	友達を思う心	I・友達と仲よくし、助け合っようとする。			6年生を送る会	III・児童自らの手で企画し、協力し合いながら実行する。
			温かい心	I・相手のことを考えて親切にしようとする。				
3	2年生にむかって	IV・自分や友達の成長を認め合い、進級への期待をもつ。	正直な心	II・嘘をついたりごまかしたりしないで、素直にのびのびと生活しようとする。	生活科 もうすぐ2ねんせい	IV・自分自身の成長に気づくとともに、支えてくれた人への感謝の気持ちを持ち、これからの成長への願いをもって意欲的に生活する。	修了式	IV・この1年間の自分のがんばりと成長したことについて考える。
			楽しいクラス	III・友達と一緒に自分たちの学級を大切にすること。				

小学校2年 キャリア教育 年間指導計画

四ツ屋小学校

1 目標

- ・自分の考えをみんなの前で話すことができる。
- ・分かったことやできたことを発表することができる。

2 基礎的・汎用的能力

- I 人間関係形成・社会形成能力
- II 自己理解・自己管理能力
- III 課題対応能力
- IV キャリアプランニング能力

月	学級活動		道徳		教科		関係行事等	
	単元名	身に付けさせたい力	主題名	身に付けさせたい力	単元名	身に付けさせたい力	行事名	身に付けさせたい力
4	当番や係の仕事	III ・係や当番の大切さがわかり、意欲的に取り組む。	自分でできるように	II ・健康や安全に気を付け、物や金銭を大切に、身の回りを整えて生活しようとする。	国語科 ともだちはどこかな	I ・大事なことを落とさずに話したり聞いたりする。	始業式	IV ・進級したことへの期待感と目標をもつ。
5	学級目標を決めよう	IV ・どんな学級にしていきたいか考える。	あたたかい心で	I ・身近にいる人に温かい心で接し、親切にしようとする。	生活科 ぐんぐんそだてわたしのやさしい 国語科 かんさつめいじんになろう	III ・植物の世話の仕方を人に聞いたり、本で調べたりして世話の仕方を工夫することができる。 III ・書こうとする題材に必要な事柄を集めることができる。	スタート！ゆりの木グループ	I ・教え合ったり仲間と協力し合ったりして活動する。
6	歯を大切に	II ・虫歯にならないように気を付けることを理解し、生活をする。	よいとおもうことは 家族の役に立つ	III ・正しいと思ったことは、進んで行おうとする。 IV ・家族に対して親愛の念を持ち、家族の一員として役に立とうとする。	生活科 どきどきわくわくまちたんけん	I ・地域の人や場所、自然などに関心を持ち進んで探検をして関わりを広げようとする。	新体力テスト	II ・自己の目標達成に向けて粘り強く取り組む。
7	何でも食べよう	II ・給食の時間や家での食事をふり返り、栄養のバランスの大切さに気付き嫌いな物も食べようとする。	つよい気持ちで	II ・自分のやるべきことは、最後までやりとげようとする。				
8			ほかの国の人びと	I ・ほかの国の人々や文化に親しもうとする。				
9	学級目標をふり返ろう	III ・学級目標に向かって努力したことやまだできていないことを考えることができる。	ともだちをおもって	I ・友達と仲良く助け合っていこうとする。	生活科 もっとなかよしまちたんけん 国語科 あつたらしいなごんなもの	II ・自分にとっての町のよさを多様な形で表現することができる。 I ・順序に気をつけて、聞き手に分かりやすいように工夫して話す。	地区民運動会	I ・地域の人達と協力して活動に取り組む。 II ・自己の目標達成に向けて粘り強く取り組む。
10	後期のめあてをたてよう	IV ・自分の良さをのびし、他との関係をよりよくするための方法を考える。	気持ちのよいあいさつ	I ・誰に対しても進んで、気持ちのよいあいさつをしようとする。			クロスカントリー大会 150周年記念式典 ゆりの木の集い	II ・自己の目標達成に向けて粘り強く取り組む。 IV ・自分の役割を果たそうと、進んで活動する。 I ・地域の人や友達と協力して活動に取り組む。
11	新しい係をきめよう	II ・いろいろな係の中から自分が興味のあることを選ぶ。	わたしたちの国や町	IV ・郷土や我が国の伝統と文化を大切にしようとする。	生活科 つながる広がるわたしのせいにかつ	IV ・自分が関わってきた人々とコミュニケーションを図り、協力して紹介する会を企画したり実行したりすることができる。		
12	係まつりをしよう	III ・自分の係が発表できることを話し合って決める。	じぶんのよさ	II ・自分の特徴に気付いて、良いところを大切にしようとする。				
1	休み時間のすごし方を工夫しよう	III ・安全に、みんなでなかよく遊べることを考え、実行しよう。	やるべきことをしっかりと	II ・自分のやるべき勉強や仕事をしっかりと行おうとする。				
2	心の中の鬼を追い出そう	II ・自分の学習や生活をふり返り、努力すべきことを見つけてみる。	みんなのためにははたらくよこび	IV ・働くことのよさを知り、みんなのために働いて役立とうとする。	あしたへジャンプ	IV ・自分の成長を支えてくれた人々に感謝の気持ちをもち、意欲的に未来に向かって生活しようとする。	6年生を送る会	III ・児童自らの手で企画し、協力し合いながら実行する。
3	6年生に感謝の気持ちを伝えよう	III ・ゆりの木グループでお世話になった6年生に感謝の気持ちを表す方法を考える。	家族のためにできること	IV ・家族を敬愛し、進んで家族のために役立とうとする。			修了式	IV ・この1年間の自分のがんばりと成長したことについて考える。

小学校3年 キャリア教育 年間指導計画

四ツ屋小学校

1 目標

- ・解決方法や手順を選択して、活動を進めることができる。
- ・自分のよさを見つけたたり、友だちのよさを認めて励まし合うことができる。

2 基礎的・汎用的能力

- I 人間関係形成・社会形成能力
- II 自己理解・自己管理能力
- III 課題対応能力
- IV キャリアプランニング能力

月	学級活動		道徳		総合的な学習の時間		教科		関係行事等	
	単元名	身に付けさせたい力	主題名	身に付けさせたい力	単元名	身に付けさせたい力	単元名	身に付けさせたい力	行事名	身に付けさせたい力
4	係を決めよう	I ・教え合ったり励まし合ったりしながら仲間と協力して仕事に取り組む。	自分でできることは	II ・仲間の中で、自分らしさを発揮しながら行動する。					始業式	IV ・進級したことへの期待感と目標をもつ。
5	きまりを守って	I ・きまりを守ることの大切さを知る。	心を形に	I ・礼儀の大切さを知る。		III ・自ら課題を見付ける。			スタート！ ゆりの木グループ	I ・教え合ったり仲間と協力し合ったりして活動する。
6	休み時間の過ごし方を考えよう	I ・遊びや集団生活を通してきまりを守ることの大切さを知る。	きまりを守る	I ・約束や社会のきまりを守ることや協力することの大切さを知る。	四ツ屋はかせ になろう！	II ・課題解決に向けて粘り強く取り組む。 I あつたりして課題解決する。	国語科 本を使って調べよう 「図書館たんていさん」	III ・目的に応じ、いろいろな本や文章を利用して調べようとする。	新体力テスト	I ・友達と協力して活動に II ・自己の目標達成に向けて粘り強く取り組む。
7	夏祭りをしよう	III ・夏祭りを児童自らの手で企画し、協力し合いながら実行する。	私たちの学校	IV ・みんなで協力し合って楽しい学級を作る。		I ・社会人としての自覚を醸成し、多様な個性や環境を理解する。	社会科 はたらく人とわたしたちのくらし 「農家の仕事」	社会人としての自覚を醸成し、多様な個性や環境を理解する。		
8							社会科	I ・社会人としての自覚を醸成し、多様な個性や環境を理解する。		
9	学習発表会への参加について	IV ・自分の役割や責任を果たし人の役に立つ喜びを実感する。	自分のよいところに目を向けて	II ・仲間の中で自分らしさを発揮しながら行動する。		III ・自ら課題を見付ける。	はたらく人とわたしたちのくらし 「店ではたらく人」		地区民運動会	I ・地域の人達と協力して活動に取り組む。 II ・自己の目標達成に向けて粘り強く取り組む。
10	後期の係を決めよう	I ・教え合ったり励まし合ったりしながら仲間と協力して仕事に取り組む。	そんなきまりがあったとは	I ・約束や社会のきまりを守ることや協力することの大切さを知る。		II ・課題解決に向けて粘り強く取り組む。 I あつたりして課題解決する。			クロスカントリー大会 学習発表会	II ・自己の目標達成に向けて粘り強く取り組む。 IV ・自分の役割を果たそうと、進んで活動する。
11	校内の遊びを工夫しよう	I ・遊びや集団生活を通してきまりを守ることの大切さを知る。	がんばり続けること	II ・目標達成に向けて粘り強く取り組む。	大仙市のひみつを探ろう！	I ・社会人としての自覚を醸成し、多様な個性や環境を理解する。			ゆりの木の集い	I ・地域の人や友達と協力して活動に取り組む。
12	お楽しみ会をしよう	III ・お楽しみ会を児童自らの手で企画し、協力し合いながら実行する。	家ぞくとともに	IV ・家ぞくの一員として進んで家の仕事を分担し、働くこととする。					なわとび集会	I ・友達と協力して活動に取り組む。 II ・学級や自己の目標達成に向けて粘り強く取り組む。
1										
2	スキー教室への参加について	I ・スキー教室への参加を通して、きまりを守ることの大切さを知る。	友達のよさ	I ・相手のことを思いやり、親切にしようとする。					6年生を送る会	III ・児童自らの手で企画し、協力し合いながら実行する。
	かぜを予防しよう	IV ・かぜをひかないために、今何をすべきか考える。								
3	6年生に感謝の気持ちを伝えよう	III ・6年生に感謝を表す計画の準備をする。	よい友達に	I ・遊びや集団生活を通してきまりを守ることや協力することの大切さを知る。					修了式	IV ・この1年間の自分のがんばりと成長したことについて考える。

小学校4年 キャリア教育 年間指導計画

四ツ屋小学校

1 目標

- ・解決方法や手順を選択して、活動を進めることができる。
- ・自分のよさを見つたり、友だちのよさを認めて励まし合うことができる。

2 基礎的・汎用的能力

- I 人間関係形成・社会形成能力
- II 自己理解・自己管理能力
- III 課題対応能力
- IV キャリアプランニング能力

月	学級活動		道徳		総合的な学習の時間		教科		関係行事等	
	単元名	身に付けさせたい力	主題名	身に付けさせたい力	単元名	身に付けさせたい力	単元名	身に付けさせたい力	行事名	身に付けさせたい力
4	学級の目標を決めよう	II・自分のやりたいこと、よいと思うことなどを考え、進んで取り組む。	はんだんしたこととは自信をもって	I・正しいと思ったことは自信をもって行おうとする。					始業式	IV・進級したことへの期待感と目標をもつ。
5	そうじの仕方をたしかめよう 学級の係の仕事を考えよう	II・係や当番活動に積極的ににかかわり、働く。	わかり合うために	I・自分と違う意見も大切にしようとする。	大曲の花火博士になろう	III 自分にとって価値のある課題を見つけ、解決方法を探りながら課題を追求する。	社会科 「水はどこから」	IV・すみよいくらしのための事業が組織的・計画的に進められていることを理解する。	スタート！ ゆりの木グループ	I・教え合ったり仲間と協力し合ったりして活動する。
						II グループの中で自分らしさを発揮しながら学習に取り組もうとする。	社会科 「ごみのしよ理と利用」	IV・すみよいくらしのための事業が組織的・計画的に進められていることを理解する。	新体力テスト	I・友達と協力して活動に組む。 II・自己の目標達成に向けて粘り強く取り組む。
6	あいさつパワーアップ大作戦 雨の日の過ごし方考えよう	I・気持ちのよいあいさつができる。 ・みんなで決めた約束を守ろうとする。	自分で考え、決めたこと	II・よく考えて行動し、節度ある行動をしようとする。		I 友だちと協力し合いながら学習に取り組もうとする。				
7	楽しみ会を開こう	III・計画作りの必要性に気付き、作業を手順が分かる。	はたらくときの思い	IV・働くことのよさに気づき、進んで人のために働こうとする。						
8					秋田県のいいところを紹介しよう	III 自分にとって価値のある課題を見つけ、解決方法を探りながら課題を追求する。	国語科 「見せ方を工夫して書こう」	III・知らせたいことの見せ方を工夫する。	地区民運動会	I・地域の人達と協力して活動に取り組む。 ・自己の目標達成に向けて粘り強く取り組む。 II・自分の力で課題を解決しようとする。
10	後期の係や当番を決めよう	II・係や当番の活動に積極的ににかかわる。	ばくたち、わたしたちの町	IV・郷土の良さに気づき大切にしようとする。		IV・郷土の良さを知り、将来ふるさとへ貢献しようとする気持ちを育てる。			クロスカントリー大会 150周年記念式典	II・自己の目標達成に向けて粘り強く取り組む。 ・自分の役割を果たそうと、進んで活動する。
	一人勉強を充実させよう	III 日常生活と学習との関連に気付く。					社会科 「県内の文化財や年中行事」	IV・郷土の良さを知り、将来ふるさとへ貢献しようとする気持ちを育てる。	ゆりの木の集い	I・地域の人や友達と協力して活動に取り組む。
11	スポーツ集会をしよう バランスのよい食事に心がけよう	I・友達のよいところを認め、励まし合う。 IV・自分にとってよいと思うことに進んで取り組む。	家族の一員として	I・生活を支えてくれる人を尊敬し、感謝する。						
12	冬休みの暮らし	III・家庭での役割や役割分担の必要性が分かる。	家族にきょうりよくして	II・自分と家族との関わり方を振り返る。	十歳式を祝おう	I 自分を支えている人たちに感謝の気持ちを伝える。			なわとび集会	I・友達と協力して活動に取り組む。 II・学級や自己の目標達成に向けて粘り強く取り組む。
1	二分の一成人式をいわおう	I・解決方法や手順を選択して、活動を進めることができる。自分や友達の良さが分かる。	心を通わせ、助け合う友だち	I・礼儀の意味や大切さを知り、誰に対しても真心をもって接しようとする。		II 自分の成長を振り返り、変容に気づく。	社会科 「県とわたしたちのまちの発てん」	II・自分の力で課題を解決しようとする。		
					IV 将来の夢や希望、あこがれをもち、そのために今何をすべきかを考える。	体育科 「育ちゆく体とわたし2」	II・自分の成長をふり振り返り、今後の成長のために進んで学ぼうとする。	6年生を送る会	III・児童自らの手で企画し、協力し合いながら実行する。	
2	感謝の心を伝えよう	IV・自分を見つめ直し、よりよくなるようとする気持ちをもつ。	自分がやりぬくとき	II・自分が立てた目標に向かって粘り強くやり遂げようとする。						
3	5年生になるために	IV・5年生になることへの期待感をもつ。	はたらくよさ	IV・働くことのよさに気づき、進んで人のために働こうとする。					修了式	IV・この1年間の自分のがんばりと成長したことについて考える。

小学校5年 キャリア教育 年間指導計画

四ツ屋小学校

1 目 標

- ・自ら自己課題の解決を進め、解決の成果をもとに新たな課題を設定して取り組むことができる。
- ・思いやりの気持ちを持ち、相手の立場に立って考えを述べ、行動することができる。

2 基礎的・汎用的能力

- I 人間関係形成・社会形成能力
- II 自己理解・自己管理能力
- III 課題対応能力
- IV キャリアプランニング能力

月	学級活動		道徳		総合的な学習の時間		教科		関係行事等	
	単元名	身に付けさせたい力	主題名	身に付けさせたい力	単元名	身に付けさせたい力	単元名	身に付けさせたい力	行事名	身に付けさせたい力
4	学級目標を決めよう	I・高学年としての自覚をもち、友達と協力し合いながらよりよい学級をつくらうとする。	夢を実現するために	IV・より高い目標を立て、努力して物事をやりぬこうとする。	保呂羽山 宿泊学習を 成功させよう	I ・決まりを守ることの大切さを理解し、協力しようとする。 II ・集団行動の中で自己規制を行いながら、自分らしさを発揮し、目標達成に向けて取り組もうとする。	家庭科 「家族の生活再発見」	I・家庭における自分の立場を理解するとともに、役割を果たし家族と協力・協働しようとする。	始業式	IV・進級したことへの期待感と目標をもつ。
	当番を決めよう	IV・集団生活を考えながら、自分の役割や責任を果たそうとする。					国語科 「さいて、きいて、さいてみよう」	I・目的や意図に応じて話の内容を捉え、多様な考え方を理解し比較しながら自分の考えをまとめてみる。	スタート！ ゆりの木グループ	I・教え合ったり仲間と協力し合ったりして活動する。
5	気持ちのよい言葉つかい	I・コミュニケーション能力を高め、他者との関係を上手に築けるようにする。	他国の人々とともに	IV・他国の人々や異文化について理解し、国際親善に努めようとする。	四ツ屋の 仕事 ① 米作りに挑 戦	I ・他者と礼儀正しく関わり、協力・協働して学習に取り組もうとする。 II ・集団の中で自分らしさを発揮しながら主体的に学習に取り組もうとする。 III ・自然や社会との関わりの中から課題を見付け、主体的に解決していこうとする。 IV ・働くことの意義を理解し、自分の役割や責任を果たそうとする。	国語科 「みんなが使いやすいデザイン」	III・自ら見付けた課題について計画的に調べ、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する。	新体力テスト	I・友達と協力して活動に取り組む。 II・自己の目標達成に向けて粘り強く取り組む。
	男女の協力	I・相手の立場や考えを理解し、自分の状況を受け止め協力し合いながら、共に生活しようとする。	親切な心で	I・相手の立場や気持ちを考え、誰に対しても親切にしようとする。			社会科 「米づくりのさかんな地域」	III・産業や職業の様子を知り、さまざまな仕事の工夫や努力について考える。	宿泊学習	II・活動計画を立て、仲間と協力しながら活動する。
7	係活動をパワーアップさせよう	IV・係活動をふり返り、自分の役割や責任を見直し、よりよい学級をつくらうとする。	役割を果たす	I・集団の中での自分の役割を自覚し、主体的に責任を果たそうとする。	四ツ屋の 仕事 ② 米作りに挑 戦	I ・他者と礼儀正しく関わり、協力・協働して学習に取り組もうとする。 II ・集団の中で自分らしさを発揮しながら主体的に学習に取り組もうとする。 III ・自然や社会との関わりの中から課題を見付け、主体的に解決していこうとする。 IV ・働くことの意義を理解し、自分の役割や責任を果たそうとする。	家庭科 「できるよ、家庭の仕事」	IV・家族の一員として自分ができる仕事を見付け、計画を立てて実行する。		
	夏休みのくらしについて考えよう	II・夏休みの生活を考え、自己規制をしながら改めてに向かって粘り強く取り組む。					社会科 「水産業のさかんな地域」	III・産業や職業の様子を知り、さまざまな仕事の工夫や努力について考える。		
8	生活時間を見直そう	II・自分の生活をふり返り、規則正しい生活をしようとする。	真理を求めて	III・真理を大切にし、物事を探求しようとする。	四ツ屋の 仕事 ③ 米作りに挑 戦	I ・他者と礼儀正しく関わり、協力・協働して学習に取り組もうとする。 II ・集団の中で自分らしさを発揮しながら主体的に学習に取り組もうとする。 III ・自然や社会との関わりの中から課題を見付け、主体的に解決していこうとする。 IV ・働くことの意義を理解し、自分の役割や責任を果たそうとする。	国語科 「やなせたかしーアンパンマンの勇気」	IV・伝記を読み、自分の生き方について考える。		
	学習発表会を成功させよう	III・自分たちの考えやアイデアを生かし、計画や準備などを仲間と協力し合いながら取り組む。	権利と義務について考える	I・権利と義務の関係について理解し、集団生活を送る上で自他の権利を尊重し合い、自分の義務を進んで果たそうとする。			社会科 「自動車をつくる工業」	III・産業や職業の様子を知り、さまざまな仕事の工夫や努力について考える。		
9	楽しいなべっこにするために	III・高学年としての自覚をもち、同学年や異学年の仲間たちのことを考えて計画や準備に取り組む。	挨拶の大切さ	I・相手の立場や気持ちを考え、て、礼儀正しく心のもった接し方をしようとする。	四ツ屋の 仕事 ④ 米作りに挑 戦	I ・他者と礼儀正しく関わり、協力・協働して学習に取り組もうとする。 II ・集団の中で自分らしさを発揮しながら主体的に学習に取り組もうとする。 III ・自然や社会との関わりの中から課題を見付け、主体的に解決していこうとする。 IV ・働くことの意義を理解し、自分の役割や責任を果たそうとする。	国語科 「歌語」	I・日常生活の中で敬語を用いながら、他者との関係を適切に築く。	地区民運動会	I II ・地域の人達と協力して活動に取り組む。 II・自己の目標達成に向けて粘り強く取り組む。
	見直そう食生活	II・自分の生活をふり返り、健康を守るためのよりよい食生活を工夫しようとする。	社会への奉仕	III・社会に奉仕する喜びを知り、その意義を理解し、公共のために役立つようとする。			国語科 「よりよい学校生活のために」	I・言葉を通して多様な他者の考えや立場を理解し、自分の考えを正確に伝える。	クロスカントリー大会 150周年記念式典 ゆりの木の集い	II IV I ・自己の目標達成に向けて粘り強く取り組む。 IV・自分の役割を果たそうと、進んで活動する。 I・地域の人や友達と協力
10	5年生レベルアップ計画	I・学級生活をふり返り、協力し合いながらよりよい生活を過ごそうとする。	困った人の身になって	I・思いやりの心を持ち、相手の立場に立って親切にしようとする。	四ツ屋の 仕事 ⑤ 米作りに挑 戦	I ・他者と礼儀正しく関わり、協力・協働して学習に取り組もうとする。 II ・集団の中で自分らしさを発揮しながら主体的に学習に取り組もうとする。 III ・自然や社会との関わりの中から課題を見付け、主体的に解決していこうとする。 IV ・働くことの意義を理解し、自分の役割や責任を果たそうとする。	社会科 「やなせたかしーアンパンマンの勇気」	IV・伝記を読み、自分の生き方について考える。	なわとび集会	I・友達と協力して活動に取り組む。 II・学級や自己の目標達成に向けて粘り強く取り組む。
	新1年生をむかえる準備をしよう	III・次年度の最高学年として新1年生を温かく迎えるための計画や準備に協力し合いながら取り組む。	自分らしく生きる	II・自分の特徴を知り、短所を改め長所を伸ばそうとする。			社会科 「情報を生かすわたしたち」	III・情報産業と生活のかかわりを知り、マスメディアを通じた情報を有効に活用する。		
11	ありがとうプロジェクトの計画を立てよう	III・6年生への感謝の気持ちを表せるような会の計画や準備などに仲間と協力し合いながら取り組む。	働くために大切なこと	I・働くことの大切さを知り、公共のために役立つようとする。	四ツ屋の 仕事 ⑥ 米作りに挑 戦	I ・他者と礼儀正しく関わり、協力・協働して学習に取り組もうとする。 II ・集団の中で自分らしさを発揮しながら主体的に学習に取り組もうとする。 III ・自然や社会との関わりの中から課題を見付け、主体的に解決していこうとする。 IV ・働くことの意義を理解し、自分の役割や責任を果たそうとする。	国語科 「言葉を使い分けよう」	I・自分の考えが伝わるように表現を工夫し、言葉で相手とのつながりをつくらうとする。	6年生を送る会	III・児童自らの手で企画し、協力し合いながら実行する。
	もうすぐ最高学年	II・最高学年としての自覚をもち、リーダーシップを発揮しながら生活しようとする。	私の学校	I・学校に愛情をもち、学校の一員としての自覚をもって、みんなで協力し合っってよりよい学校をつくっていくこととする。			社会科 「環境を守るわたしたち」	III・生活環境や問題に着目し、よりよい生活をするための手段や方法を考える。	修了式	IV・この1年間の自分のがんばりと成長したことについて考える。
12	5年生レベルアップ計画	I・学級生活をふり返り、協力し合いながらよりよい生活を過ごそうとする。	困った人の身になって	I・思いやりの心を持ち、相手の立場に立って親切にしようとする。	四ツ屋の 仕事 ⑦ 米作りに挑 戦	I ・他者と礼儀正しく関わり、協力・協働して学習に取り組もうとする。 II ・集団の中で自分らしさを発揮しながら主体的に学習に取り組もうとする。 III ・自然や社会との関わりの中から課題を見付け、主体的に解決していこうとする。 IV ・働くことの意義を理解し、自分の役割や責任を果たそうとする。	国語科 「やなせたかしーアンパンマンの勇気」	IV・伝記を読み、自分の生き方について考える。	なわとび集会	I・友達と協力して活動に取り組む。 II・学級や自己の目標達成に向けて粘り強く取り組む。
	新1年生をむかえる準備をしよう	III・次年度の最高学年として新1年生を温かく迎えるための計画や準備に協力し合いながら取り組む。	自分らしく生きる	II・自分の特徴を知り、短所を改め長所を伸ばそうとする。			社会科 「情報を生かすわたしたち」	III・情報産業と生活のかかわりを知り、マスメディアを通じた情報を有効に活用する。		
1	ありがとうプロジェクトの計画を立てよう	III・6年生への感謝の気持ちを表せるような会の計画や準備などに仲間と協力し合いながら取り組む。	働くために大切なこと	I・働くことの大切さを知り、公共のために役立つようとする。	四ツ屋の 仕事 ⑧ 米作りに挑 戦	I ・他者と礼儀正しく関わり、協力・協働して学習に取り組もうとする。 II ・集団の中で自分らしさを発揮しながら主体的に学習に取り組もうとする。 III ・自然や社会との関わりの中から課題を見付け、主体的に解決していこうとする。 IV ・働くことの意義を理解し、自分の役割や責任を果たそうとする。	国語科 「言葉を使い分けよう」	I・自分の考えが伝わるように表現を工夫し、言葉で相手とのつながりをつくらうとする。	6年生を送る会	III・児童自らの手で企画し、協力し合いながら実行する。
	もうすぐ最高学年	II・最高学年としての自覚をもち、リーダーシップを発揮しながら生活しようとする。	私の学校	I・学校に愛情をもち、学校の一員としての自覚をもって、みんなで協力し合っってよりよい学校をつくっていくこととする。			社会科 「環境を守るわたしたち」	III・生活環境や問題に着目し、よりよい生活をするための手段や方法を考える。	修了式	IV・この1年間の自分のがんばりと成長したことについて考える。
2	5年生レベルアップ計画	I・学級生活をふり返り、協力し合いながらよりよい生活を過ごそうとする。	困った人の身になって	I・思いやりの心を持ち、相手の立場に立って親切にしようとする。	四ツ屋の 仕事 ⑨ 米作りに挑 戦	I ・他者と礼儀正しく関わり、協力・協働して学習に取り組もうとする。 II ・集団の中で自分らしさを発揮しながら主体的に学習に取り組もうとする。 III ・自然や社会との関わりの中から課題を見付け、主体的に解決していこうとする。 IV ・働くことの意義を理解し、自分の役割や責任を果たそうとする。	国語科 「やなせたかしーアンパンマンの勇気」	IV・伝記を読み、自分の生き方について考える。	なわとび集会	I・友達と協力して活動に取り組む。 II・学級や自己の目標達成に向けて粘り強く取り組む。
	新1年生をむかえる準備をしよう	III・次年度の最高学年として新1年生を温かく迎えるための計画や準備に協力し合いながら取り組む。	自分らしく生きる	II・自分の特徴を知り、短所を改め長所を伸ばそうとする。			社会科 「情報を生かすわたしたち」	III・情報産業と生活のかかわりを知り、マスメディアを通じた情報を有効に活用する。		
3	ありがとうプロジェクトの計画を立てよう	III・6年生への感謝の気持ちを表せるような会の計画や準備などに仲間と協力し合いながら取り組む。	働くために大切なこと	I・働くことの大切さを知り、公共のために役立つようとする。	四ツ屋の 仕事 ⑩ 米作りに挑 戦	I ・他者と礼儀正しく関わり、協力・協働して学習に取り組もうとする。 II ・集団の中で自分らしさを発揮しながら主体的に学習に取り組もうとする。 III ・自然や社会との関わりの中から課題を見付け、主体的に解決していこうとする。 IV ・働くことの意義を理解し、自分の役割や責任を果たそうとする。	国語科 「言葉を使い分けよう」	I・自分の考えが伝わるように表現を工夫し、言葉で相手とのつながりをつくらうとする。	6年生を送る会	III・児童自らの手で企画し、協力し合いながら実行する。
	もうすぐ最高学年	II・最高学年としての自覚をもち、リーダーシップを発揮しながら生活しようとする。	私の学校	I・学校に愛情をもち、学校の一員としての自覚をもって、みんなで協力し合っってよりよい学校をつくっていくこととする。			社会科 「環境を守るわたしたち」	III・生活環境や問題に着目し、よりよい生活をするための手段や方法を考える。	修了式	IV・この1年間の自分のがんばりと成長したことについて考える。

3 学校保健安全

(1) 学校保健計画

① 目 標 心身の健康に関わる基本的な生活習慣の定着を図るとともに、児童一人一人が健康な生活に関心をもち、すすんで健康増進に努める態度を育てる。

② 年間計画

月	保健目標	保健行事	保健教育	保健管理	
4 5	①自分の体を知ろう ②身の回りをきれいにしよう	定期健康診断 ・身体計測 ・視力検査 ・尿検査 ・内科検診 ・心電図検査 ・貧血検査 ・歯科検診 ・耳鼻科検診 ・眼科検診	・基本的な生活習慣の指導と定着 歯みがき、手洗い、うがい トイレの使い方 ハンカチ・ティッシュの携帯 朝食の重要性 ・健康診断の受け方 ・疾病治療勧告 ・修学旅行事前指導	・学校保健指導計画の作成 ・定期健康診断の計画と準備 ・感染症予防対策の立案 ・清掃箇所、手順、用具の確認 ・歯みがきの徹底 ・水飲み場の衛生管理 ・机椅子の適正点検	通年 感染症予防対策（校内環境整備・うがい・手洗い・換気の呼びかけ・家庭への情報発信と連携）
6	①歯を大切にしよう ②梅雨時の健康に気をつけよう	定期健康診断 ・聴力検査 歯と口の健康週間	・う歯予防の指導 ・手洗いの励行 ・疾病治療勧告 ・熱中症予防の指導と対策 ・5年宿泊学習事前指導	・感染症予防対策の徹底 ・疾病異常者の記録 ・運動選手の健康管理 ・健康診断後の統計処理 ・害虫などの侵入阻止 ・水飲み場排水溝整備 ・飲料水の管理	
7 8	①夏を元気に過ごそう ②交通事故や水の事故に気をつけよう		・夏の病気の予防 ・プール使用時の健康管理 ・汗の始末の指導 ・夏季休業中の健康調査	・感染症予防対策の徹底 ・清掃用具や方法の確認 ・疾病異常者の治療確認 ・プールの衛生管理 ・プール周辺の安全管理	
9	①安全なくらしをしよう ②健康な体をつくろう	健康相談 色覚検査(希望者)	・安全なくらしについて ・偏食防止の指導	・体調管理とケガの防止 ・薬品の管理 ・学校給食の衛生管理	
10	①体を鍛えよう ②目を大切にしよう	就学時健康診断 脊柱側弯症検査 身体計測 目の愛護デー	・体力づくりや外遊びの励行 ・目の保健指導	・就学時健康診断の実施 ・照度照明の検査 ・机椅子の適正点検	
11	①かぜを予防しよう ②歯を大切にしよう		・正しい姿勢の指導 ・歯の健康指導	・手洗い場の整備 ・暖房器具の点検 ・防火設備点検	
12 1 2	①冬を元気に過ごそう ②心の健康をふりかえろう	大清掃 薬物乱用防止教室(6年)	・感染症の予防について指導の徹底 ・薬物乱用防止教室(アンケートと振り返り) ・スキー授業、スキー教室の健康指導 ・心の健康に関する個別指導 ・冬期休業中の健康調査 ・保健集会	・かぜ罹患調査の実施 ・感染症情報提供と対策 ・疾病の治療確認 ・非常口の確保 ・CO ₂ 検査	
3	①1年間の健康生活をふりかえろう ②耳を大切にしよう	耳の日 大清掃	・1年間の生活の振り返り ・耳の働きと保護 ・初潮指導(4年女子)	・保健室備品の管理・点検 ・健康診断簿の整理 ・清掃用具点検と補充	

(2) 保健室経営計画

保健室経営目標

自分の心身に関心をもち、健康で安全な生活を実践できる子どもを育成する

具体的な目指す姿

- (1) 身体を大事にし、自他共に「生命」を大切にすることができる子ども
- (2) 自分の健康状態を理解し、健康課題を見付けられる子ども
- (3) 自分の健康課題にあった望ましい健康習慣にはげむ子ども

◆指導の重点

1. 学校保健の充実

①保健管理

- ・定期健康診断や日常の健康観察から、児童一人一人の心身の健康状態を把握し学校医や家庭との連携を深めながら、疾病疑いの早期発見と対応に努める。

②保健指導・保健学習

- ・基本的な生活習慣を確立するため、発達段階や場に応じた集団・個別指導を行う。

③健康相談活動

- ・来室児童の様子から心の不安や人間関係、いじめ等の早期発見に努める。
- ・保健室や別室登校児童等、心身の健康に問題をもつ児童の対応は保護者や職員間の連絡を密にしながら、場合によっては医療機関他関係機関とも連携をとりながら支援・援助を行う。
- ・保健室機能を生かした健康相談活動の充実を図る。

④組織的な指導の推進

- ・地域社会と一体となった活動を推進する→子ども園や中学校と連携した相互連絡と情報交換を行う。

2. 学校安全の充実

- ・学校内外の環境衛生維持と施設設備の安全と改善に努める。
- ・諸活動の安全管理に努め、安全指導を推進する。
- ・学校医、学校薬剤師その他の諸機関と連携し、問題改善にあたる。

3. 食育の充実

- ・食生活意識の向上を図りながら、偏食や肥満等、食事のとり方に改善を要する児童に対して個別に（保護者含む）健康相談活動を実施する。
- ・食事環境整備と衛生管理指導に努める。

(3) 学校給食

① 重点目標

- ・食事時の衛生面や基本的食事マナーを身に付ける。
- ・食べ物の栄養と健康の保持増進についての理解を深める。
- ・給食を通して役割意識を高めたり、好ましい人間関係を育てたりする。

② 実践項目

- ・安全で衛生的な給食準備と後片付けを協力して効率よくできるよう全職員で指導する。
- ・基本的な食事の食べ方やマナーを年間を通して計画的に指導する。
- ・食事の場にふさわしい環境作りや和やかな食事時間となるように心がける。

③ 月別目標と具体的指導内容

月	目 標	指 導 の ポ イ ン ト
4	準備や後片付けをきちんとおこなおう	<ul style="list-style-type: none"> ・安全と衛生に気をつけ、協力して準備や後片付けをする。 ・準備や後片付けの手順を身に付ける。 ・良い姿勢で、食器を持って食事をする。
5	後片付けを最後までしっかりおこなおう	<ul style="list-style-type: none"> ・安全な運搬の仕方と後片付けの手順を確認する。 ・配膳台、机下、床を清掃する。
6	清潔な食事に心がけ、よくかんで食べよう	<ul style="list-style-type: none"> ・ていねいな手洗いをする。 ・机や配膳台をきれいに拭く。(布巾を固く絞る) ・もぐもぐタイムの充実とよく噛んで食べる習慣をつける。
7	食事マナーを身につけよう	<ul style="list-style-type: none"> ・正しい箸の持ち方や食器の持ち方で食事をする。 ・良い姿勢で食べ、時間内に食べる。 (児童の給食実態反省と改善点の確認)
8 9	栄養を考えてバランスよく食べよう	<ul style="list-style-type: none"> ・夏バテしないよう、バランスよく食べる。 ・旬の夏野菜を積極的に食べる。
10	すききらいを少なくしよう	<ul style="list-style-type: none"> ・苦手な食材でも食べるように努力する。 ・偏食の身体に与える影響を知り、食習慣を考える。
11	献立と栄養に関心をもとう	<ul style="list-style-type: none"> ・給食献立が栄養のバランスを考えて作られていることを知り、日常生活でも栄養バランスを考えて食べる。
12 1	野菜を食べよう	<ul style="list-style-type: none"> ・給食時間の約束を確認する。 ・冬を健康に過ごすために栄養を考えた食事の大切さを知る。
2	感謝して食べよう	<ul style="list-style-type: none"> ・食事に携わる人々の仕事を理解し、感謝の気持ちを持つ。 ・心をこめて食事のあいさつをする。
3	一年間の給食活動を振り返ろう	<ul style="list-style-type: none"> ・一年間の給食活動についての振り返りをする。 ＊清潔に手際よく準備や後片付けができたか。 ＊良い食習慣やマナーが身に付いたか。 ＊自分の食生活を見直し、改善する努力をしたか。

4 体力づくり

(1) 目標

- ①運動に積極的で基礎体力があり、めあてに向かって努力する児童を育てる。
- ②自らの健康に関心を持ち、安全な生活を営むための習慣や態度を身に付け、友達と協力して体力づくりに励む児童を育てる。
- ③施設や用具を大切に使い、工夫して活用できる児童を育てる。

(2) 体力づくりについて

①教科における体力づくりについて

○授業での取組

ア. 技能面

- ・視覚教材を活用したり、できた児童を手本にしたりなどして技の完成イメージや目標をもたせる。
- ・スモールステップでできる喜びを味わわせる。
- ・練習方法を選択したり、アドバイスし合ったりする場を設定する。

イ. 態度面

- ・適切な個人目標を考えさせ、目標を達成できる手立てや場の設定を行う。
- ・めあて学習を取り入れる。
- ・進歩や技術の向上を実感できる学習シートを活用する。

○水泳授業

- ・水泳能力カードを基に、各学年や個人に応じて目標をもたせる。

○スキー授業

- ・全校で校庭横のゆりの木山において授業を行い、技術の向上を図る。
- ・年に一度スキー場に出かけ、技術の向上を図る。

②ゆりの木タイム（業間）での体力づくりについて

※毎週火曜日のゆりの木タイムは「パワーアップタイム」として全校で体力向上に向けての取り組みを行う。

○夏季 マラソン・短縄跳び（5月～10月）

- ・時程 10:05～10:08 準備体操
10:08～10:15 マラソン（外）・短縄跳び（体育館・ワークスペース）
10:15～ 解散（外遊びを推奨）
- ・晴天時は外でマラソンを行い、雨天時は校内で短縄跳びに取り組む。
- ・目標を持って取り組むためにマラソンカードを使用する。
- ・全職員で見守りや声かけを行う。

○冬季 短縄跳び及び長縄跳び（11月～3月）

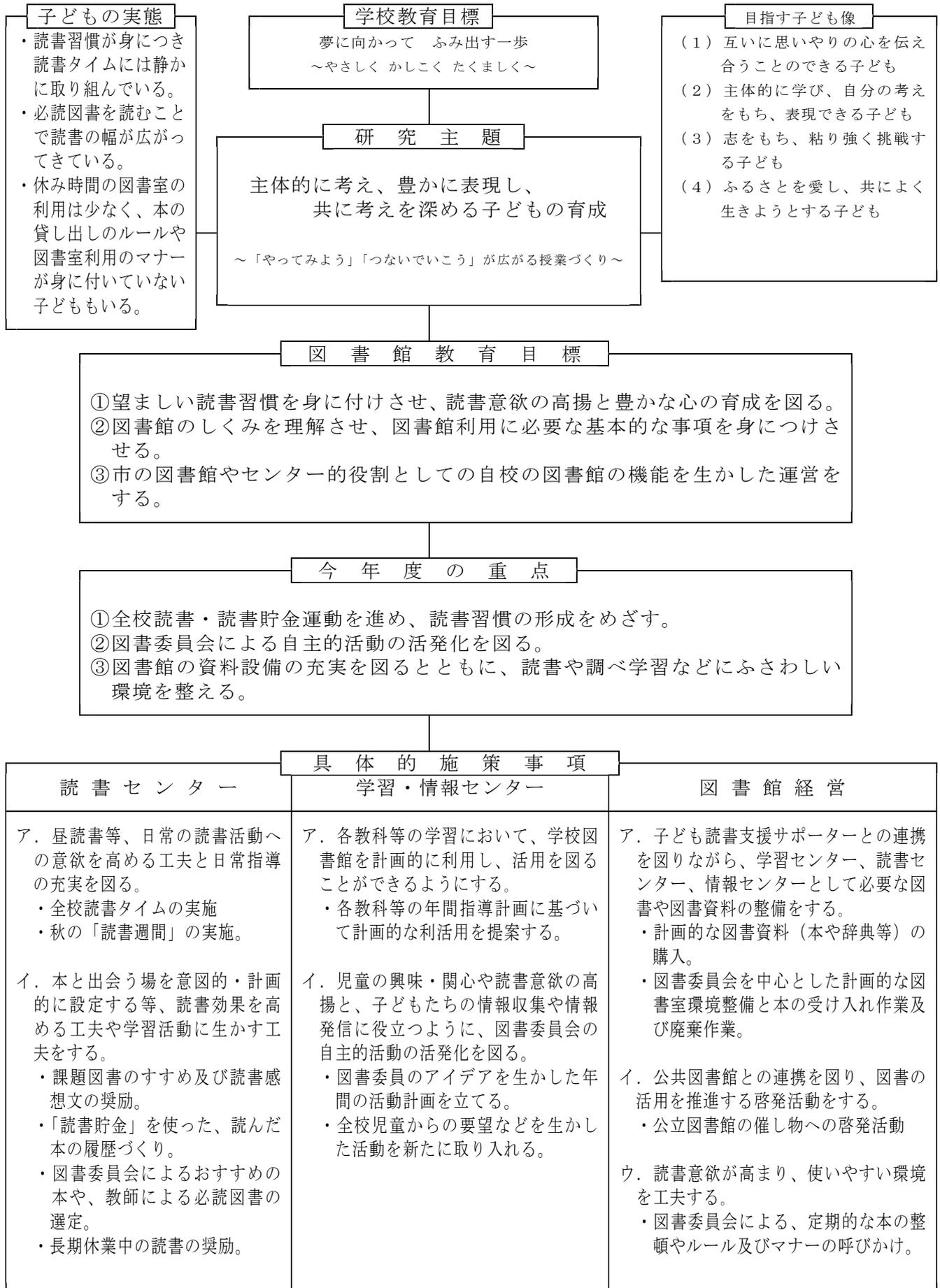
- ・短縄跳びを用いての体力づくりや縄跳び集会にむけて長縄跳びの練習を行う。

③学校行事（健康安全）における体力づくりについて

- ・運動会やクロスカントリー大会、スキー教室を通して、目標に向かって努力する気持ちを育てる。

5 図書館教育

図書館教育全体指導計画



6 情報・視聴覚教育

(1) 目標

コンピュータや情報通信ネットワークなど様々な情報手段を適切に選択し、活用することができる能力を育成し、情報活用のルールやマナーを身に付けさせる。

(2) 今年度の重点

- ①学習効果を高めるため、視聴覚教育機器やコンピュータの操作技術や情報モラルを身に付け、児童の発達段階に応じて活用場面を判断し、その特性を生かして学習の効率化に努める。

低学年	絵をかくなどの活動を通してコンピュータの操作に親しませる。
中学年	問題解決のために必要な情報を得たり、表現したりするための道具の一つとして利用する。
高学年	得られた多くの情報から必要な情報を選択したり、適切に処理して活用したりする。

- ②機器や資料の整備・点検と適切な保管・管理を行う。

(3) 具体的施策

- ①機器の利便性を生かした効果的な学習指導を図る。
②機器利用に関する研修や視聴覚教育や情報教育の動向についての研修を行う。

学年	情報活用の実践力			情報化社会へ参画する態度（情報モラル）
	情報収集・判断	情報の加工・表現	情報の伝達・交流	
低学年	必要な情報を身の回りから集めることができる。 与えられた情報の中から、必要な情報を選び出すことができる。	お絵かきソフトを使って絵を描いたり、必要に応じて文字を入れたりできる。	互いに作品を鑑賞し合い、それぞれがもつよさについて意見を出し合うことができる。	コンピュータを活用する際のルールやマナーを知り、積極的に守ることができる。
中学年	検索サイトを用いて、必要な情報を集めることができる。その中から自分の必要とする内容を選択できる。	ローマ字で入力し、ワープロソフトで簡単な文章の作成ができる。 簡単な画像の加工ができる。	ワープロソフトで文章を書き、自分の意見や考えを友達に伝えることができる。	場に応じた表現方法を考え情報を発信できる。 インターネット上には不正な情報が発信されていることもあることを知る。
高学年	自分の目的に応じて必要な資料を収集し、自分なりの資料を作成することができる。	見る側の視点に立った表現方法を工夫し、画像や文字を加工、配列することができる。	簡単なプレゼンテーションデータを作成し、受け手がはっきり分かるように表現することができる。	情報化社会の光と影への理解を深めるとともに、電子メール・掲示板等を利用する際は人権や著作権などの尊重が重要であることを理解し、適切な情報モラルを身に付ける。

7 福祉教育

教育目標

夢に向かって ふみ出す一歩 ～やさしく かしく たくましく～

(1) 福祉教育の目標

- ①様々な活動への参加や具体的な実践を通して地域の人々との交流を図りながら、相手を思いやり互いに尊重し合う豊かな心を育成する。
- ②地域福祉への理解と関心を深め、共によりよく生きようとする気持ちと態度を養う。

(2) 今年度の重点

低学年

- ・ 友達や地域の人達にあいさつをする。
- ・ だれに対しても親切にする。
- ・ 自分がやるべき学習や仕事をしっかりと行う。
- ・ 生命を大切にする心をもつ。
- ・ 地域の人と関わり、地域の自然や文化にふれる。

中学年

- ・ 友達や地域の人達にあいさつをする。
- ・ 相手のことを思いやり、親切にする。
- ・ 自分で決めたことを粘り強くやり抜く。
- ・ 生命あるものを大切にする。
- ・ 奉仕活動を通して、地域の一員としての自覚をもつ。

高学年

- ・ 友達や地域の人達に進んであいさつをする。
- ・ 相手の立場に立って、思いやりの心で接する。
- ・ 自分で課題を見つけ、解決に向けて取り組む。
- ・ 生命の尊さを知り、自他の生命を尊重する。
- ・ 奉仕活動、ボランティア活動を通して、社会の一員としての自覚をもち、公共のために役立とうとする。

(3) 具体的施策

◇ 学級・学年経営 ◇

- ・ 児童の発達の段階に応じて「思いやりの心」の育成に努める。
- ・ 実践を通して、身近な社会の営みへの理解を深めると共に、福祉の心を行動に表す能力や態度を育てる。

◆ 各教科

- ・ よりよい社会をつくるための人々の工夫や生命の大切さを理解する。
- ・ ねらいに即して、目標の達成を目指しながら、相互に助け合い、協力しようとする態度を育てる。

◆ 総合

- ・ 体験的な活動を通して、自主的、実践的な態度を育成するとともに、福祉への理解と関心を高め、実践力を養う。

◆ 道徳

- ・ 道徳的心情や道徳的判断力を高め、道徳的实践意欲と態度の向上を図る。
- ・ 誰に対しても思いやりをもって接し、助け合ったり協力し合ったりする態度を育成する。

◆ 特別活動

- ・ 学校行事を通して地域との交流を図り、地域への理解と関心を深めるとともに、社会性を育む。
- ・ 児童会活動を通して、地域社会に貢献しようとする主体的な態度を培う。
- ・ 募金活動や奉仕活動への理解を深めるとともに関心を高め、協力を推奨する。

家庭や地域

- ・ 地域への積極的な働きかけと地域の教育資源の活用
- ・ PTA活動との連携

8 食育

(1) 目標

- ①心身の成長や健康の保持増進の上で望ましい栄養や食事のとり方を理解し、自ら管理していく能力を身に付ける。
- ②食事のマナーや食事を通じた人間関係形成能力を身に付ける。

(2) 今年度の重点

- ・食事時の衛生面や基本的食事マナーを身に付ける。
- ・食べ物の栄養と健康の保持増進についての理解を深める。
- ・給食を通して役割意識を高め、好ましい人間関係を育てる。

(3) 具体的施策

食に関する指導・年間指導計画

学年	月	教科・領域	単元・題材	教科・領域におけるねらい	食生活カリキュラム指導内容	給食指導
1 学 年	4月	特別活動	給食が はじまります	・給食の準備や片付けを協力して行い、楽しく給食を食べることができるようにする。	「おいしい給食はじまるよ」	・手洗い、うがい ・配膳の仕方 ・箸の持ち方
	5月	生活科	サツマイモを そだてよう	・サツマイモの栽培活動を通して、その生長を観察する。	「なんでもよくたべようⅠ」	・バランスのよい食事
	10月	生活科	おいもパーティ ーをしよう	・育てたサツマイモを収穫し、おいもパーティーをひらく。	「なんでもよくたべようⅡ」	・バランスのよい食事 ・三角食べ ・食事のマナー
2 学 年	5月	生活科	やさいを そだてよう	・ミニトマトなどの野菜の栽培活動を通して、その生長を観察する。	「やさいのひみつ」	・ごはんの栄養 ・盛りつけ ・箸の持ち方
	7月	特別活動	楽しく 食べよう	・食事のマナーが分かり、友達と楽しく給食を食べることができるようにする。	「楽しく食べよう」	・楽しい食事 ・三角食べ ・食事のマナー
	10月	生活科	枝豆とサツマイモ を食べよう	・自分たちが育てた枝豆とサツマイモを収穫し、食べる。	「やさいパワーはすごいぞ!」	・野菜の栄養
3 学 年	6月	理科	植物を 育てよう	・植物の栽培活動や観察を通して、その生長に一定の順序があることをとらえる。	「野菜パワーはすごいぞ」	・野菜の栄養
	6月	保健体育	健康な生活	・楽しく食事をするのが心身の健康に大切なことが分かる。	「じょうぶな体をつくろう」	・バランスのよい食事
	7月	社会	農家の仕事	・食材を育ててくれている人に、感謝の気持ちをもって食事を大切に食べようとする心情を育てる。	「感謝して食べよう」	・感謝する心
4 学 年	6月	理科	植物のようす を観察しよう	・1年を通して植物を観察し、季節によって変化する植物の様子を観察する。	「食品について知ろう」	・野菜の栄養
	9月	社会	自然災害から くらしを守る	・協力したり、マナーを考えたりすることが思いやりの食事につながることを理解する。	「思いやりをもって食事をしよう」	・食事のマナー
	12月	保健体育	育ちゆく体と わたし	・体をよりよく発育・発達させるためには、調和のとれた食事や適切な運動、休養や睡眠が必要であることがわかる。	「じょうぶな体をつくろう」	・牛乳の栄養 ・体を作る元になる栄養
5 学 年	5月	総合	米のひみつを 探ろう	・米の種類や産地を調べたり米ができるまでの世話などについて教わったりして稲を栽培する。	「主食の大切さを考えよう」	・主食をとることの大切さ
	7月	理科	花から実へ	・花にはおしべとめしべがあり子房が実になり、中に種子ができることを理解する。	「食べ物のはたらきについて知ろう」	・様々な食品の栄養
	11月	家庭科	ご飯とみそ汁 を作ろう	・日常の食事に関心を持ち、ご飯とみそ汁の調理実習をする。	「食生活を見直そう」	・バランスのよい食事のとり方
6 学 年	5月	理科	ジャガイモを 育てよう	・植物の養分の取り方を調べ、植物と環境とのかかわり方について考える。	「食べ物のはたらきについて知ろう」	・様々な食品の栄養
	9月	家庭科	1食分の食事 について考え よう	・毎日の食事を見直し、栄養的なバランスを考えて1食分の食事の計画を立てることができる。	「食生活を見直そう」	・バランスのよい食事のとり方
	2月	保健体育	病気の予防	・生活習慣病など生活行動が主な要因となって起こる病気の予防には、栄養の偏りのない食事や口腔の衛生など望ましい生活習慣を身につけることが必要であることが分かる。	「食生活について考えよう」	・健康の保持増進の上で望ましい食事のとり方

(4)食に関する指導・全体計画

学校教育目標
夢に向かって ふみ出す一步
-やさしく かしく たくましく-

食に関する指導の目標

① 心身の成長や健康の保持増進の上で望ましい栄養や食事のとり方を理解し、自ら管理していく能力を身に付ける。
② 食事のマナーや食事を通じた人間関係形成能力を身に付ける。

各学年の食に関する指導の目標		
低学年	中学年	高学年
<ul style="list-style-type: none"> ・食べ物は体に大切な働きをしていることを理解する。 ・好き嫌いしないで食べようとする。 ・友だちと楽しく食べようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・食べ物には3つの働きがあることを理解する。 ・健康に過ごすことを意識しているいろいろな食べ物を好き嫌いせずに食べようとする。 ・食べ物や食生活を支えてくれる人々に感謝の気持ちをもちマナーを守って食事をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・健康のためには、栄養バランスのとれた食事をするのが大切であることを理解する。 ・食事を通して好ましい人間関係を育て、日本の食文化を大切にしようとする。 ・食品の衛生に気をつけて簡単な調理をすることができる。

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
特別活動	学級活動及び給食時間	低学年			中学年			高学年					
		・給食の約束を理解し、配膳や片付けなどの当番活動を行う。			・食べ物に関心をもち、それぞれ働きがあることを知る。			・食事のマナーを理解し、友だちと楽しく給食を食べることができる。					
		・食べ物には3つの働きがあることを知る。			・食べ物に関した地域の産物に興味をもち、日常の食事と関連づけて考えることができる。			・食事のマナーに気を付け、楽しい雰囲気の中で食べることができる。					
		・給食に使われている食品の栄養的な特徴がわかる。			・健康な生活のためには食生活が大切であることを理解する。			・望ましいマナーを身に付け、楽しい雰囲気づくりを工夫して食事を楽しむことができる。					

		1年	2年	3年	4年	5年	6年
教科との関連	生活	・栽培活動を通して、野菜の生長や収穫の喜びを味わう					
	社会			・大仙市のようす	・秋田県の広がり	・私たちの生活と食料生産	・縄文のむらから古墳のくにへ ・長く続いた戦争と人々の暮らし
	理科			・植物を育てよう ・花と実を調べよう	・動物のからだのつくりと運動	・発芽と生長 ・花から実へ	・動植物のからだと働き ・くらしと環境
	家庭					・ご飯とみそ汁を作ろう ・野菜を使った簡単な調理をしよう ・楽しい食事を工夫しよう	
	体育(保健領域)			・毎日の生活と健康 ・育ちゆく体とわたし		・病気の予防	